

科目ナンバー	RMGT3523S
科目名	犯罪心理学
担当教員	財津 亘
配当年次	2年
学期	2024年度後学期
曜日・時限	オンデマンド授業
教室	
Canvas LMS コースID・コース名称	
単位区分	選
授業形態	講義
単位数	2単位
実務経験のある教員による授業科目	
科目大分類	専門
科目中分類	専門展開カテゴリ
科目小分類	専門・危機管理

科目の位置づけ（能力開発）		
DPコード	[DP1-E]学識・専門技能／[DP4-I]理解力・分析力	
CRコード		割合
C1（倫理的思考・社会認識）		25%
E1（学識と専門技能）		25%
G1（状況把握）		20%
I1（理解・分析と読解）		10%
I2（量的分析）		10%
I3（情報分析）		10%

教員の実務経験	2004年4月から2020年3月までの16年間、県警科学捜査研究所に勤務し、ポリグラフ検査や犯罪者プロファイリング、筆跡鑑定など犯罪捜査支援に携っていました。
教員実務経験の関連授業回	本授業では、実務上の知見と経験を活かし、授業内で犯罪捜査の事例を交えて説明します。
成績ターゲット区分	3発展期～4定着期
科目概要	犯罪心理学は、犯罪行動の背景にある心理的要因に限らず、生物的ないし社会的要因を総合的に理解するための学問といえます。本講義では、犯罪の原因や動機を心理学的観点を中心に探りつつ、犯罪統計や各種犯罪（殺人、強盗、放火など）の特徴について学ぶとともに、犯罪予防や被害者支援、少年非行に関する問題を取り扱うことで現代社会における犯罪の複雑な構造について学んでいきます。また、警察で活用されている犯罪捜査手法をはじめ、鑑別所や裁判所といった一連の司法機関において活用されている心理学について学びます。報道等の事例や担当教員が実際に経験した事件の事例に触れながら、司法・犯罪に関係する法律や関係機関、加害者・被害者の心理や支援についての基礎知識を身に着けることを目標とします。
キーワード	■犯罪・非行 ■犯罪原因論 ■捜査心理学

授業の趣旨	
副題	社会との関わりから考える犯罪現象の理解
授業の目的	本講義の目標は次の3つとなります。第一に、テレビや新聞などメディアで報道される犯罪はセンセーショナルに取り上げられることが多く、科学的根拠（エビデンス）の欠けた視点で加害者や非行少年、または被害者等について語られることも少なくありません。科学的な視点を持たないままでは、事実を見誤ることに繋がります。犯罪心理学は、「心理学的な方法を用いて得られたエビデンスを背景とした実証的な犯罪現象の究明」であり、そのような視点に立って各種犯罪を概観することで犯罪現象を観察する、あるいは分析できる力を養うことを目的としています。第二に、犯罪心理学は犯罪現象の理解にとどまりません。現実の社会においては、エビデンスを基にした心理学的視点からの矯正保護、防犯対策など各種犯罪防止策がもとめられます。本講義では、具体的な心理学を活用した対策について、その効果や限界を理解することを第二の目的として

	います。最後に、本講義では加害者のみならず、被害者に焦点をあて、どのような心理特性を持つ傾向があり、またどのような支援が可能なかを考える力を養うことを第三の目的としています。
授業のポイント	犯罪現象の機序や罪種別で浮き彫りとなる特徴と、実社会における犯罪対策および政策、支援を結びつけ、より広い視野から考察できるように導いていきます。
総合到達目標	■一般目標（GIO） 犯罪現象を心理学的に分析する力を養うとともに、対策に関する基礎的な知識を習得します。 犯罪に関する議論を多角的または批判的に捉え、エビデンスを基に具体的な事例や犯罪の動向を客観的かつ様々な視点から考える技能を身に着ける。 安全やリスク管理について積極的に考え、社会の一員として責任感をもって行動する習慣を身に着ける。 ■個別行動目標（SBOs） 犯罪・非行問題や犯罪対策を理解したうえで、自らの観点から考察し、その考えを主張できる。
成績評価方法	■適用ルーブリック C1(25%)、E1（25%）、G1（20%）、I1（10%）、I2(10%)、I3(10%) ■成績評価手段 各回で実施する確認テスト（50%）、各回で実施する課題（30%）、期末レポート（20%）の予定としています。成績評価手段の詳細は、オリエンテーションにて説明いたします。 ■フィードバック方法 各回の確認テストの結果は、ポータルを介してフィードバックします。質疑はリアクションペーパーにて提出し、ポータルを介して回答いたします。
履修条件	特にありません。
履修上の注意点	特にありません。

授業内容	
第1回	①授業テーマ オリエンテーション、犯罪心理学の概要 ②授業概要 授業のスケジュール、進め方、評価方法について説明する。また、「犯罪心理学」の全体像を把握するために、概要に関連領域やその歴史を通して理解する。(I1) ③予習(120分) 以下の資料（PDF）を読む。 『桐生（2009）. 日本の犯罪心理学研究の歴史と課題』 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjlawpsychology/19/1/19_2/_pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第2回	①授業テーマ 犯罪の定義と法律、および統計 ②授業概要 犯罪の定義および刑法など犯罪に関連する各種法律を学ぶとともに、犯罪統計を通して、我が国の犯罪発生状況を把握する。(I2、I3) ③予習(120分) 以下の資料（PDF）を読む。 『警察白書（令和6年版）第2章生活安全の確保と犯罪捜査活動 第1節犯罪情勢とその対策』 https://www.npa.go.jp/hakusyo/r06/pdf/05_dai2sho.pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第3回	①授業テーマ 犯罪原因論 ②授業概要 なぜ人は犯罪にいたるのか、この問いに対する犯罪の原因論を通じて、犯罪の発生メカニズムについて学ぶ。(E1) ③予習(120分) 以下の資料（PDF）を読む。 『島田（2013）. 環境心理学と犯罪研究』 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jenvpsy/1/1/1_46/_pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第4回	①授業テーマ 各種犯罪（殺人、放火、強盗）とその動機 ②授業概要

	殺人、放火、強盗といった重要凶悪犯罪を題材に、加害者の特徴や動機等を理解する。(E1) ③予習(120分) 以下の資料 (PDF)を読む。 『喜入ほか (2017). 日本における連続殺人事件の類型と単一殺人事件との比較』 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsy/advpub/0/advpub_87.15228/_pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第5回	①授業テーマ 各種犯罪（性犯罪、ストーカー犯罪、窃盗）とその動機 ②授業概要 性犯罪、ストーカー犯罪、窃盗といった犯罪を題材に、加害者の特徴や動機等を理解する。(E1) ③予習(120分) 以下の資料 (PDF)を読む。 『財津 (2018). 性犯罪を対象とした罪種間の移行性と 各種窃盗犯罪との関連』 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjcp/56/1/56_560105/_pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第6回	①授業テーマ 各種犯罪（児童虐待、DV）とその動機 ②授業概要 児童虐待防止法やドメスティックバイオレンスに関連する法律を理解するとともに、加害者・被害者の特性を理解し、支援について学ぶ。(E1) ③予習(120分) 以下の資料 (PDF)を読む。 『犯罪白書(令和 5 年版) 第 4 編各種犯罪の動向と各種犯罪者の殊遇 第 6 章児童虐待・配偶者からの暴力・ストーカー等に係る犯罪』 https://www.moj.go.jp/content/001410103.pdf ④復習(120分)配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第7回	①授業テーマ 犯罪捜査に活用されている心理学① ②授業概要 警察機関の犯罪捜査に活用されているポリグラフ検査や犯罪者プロファイリングを学ぶ。(E1、I2、I3) ③予習(120分) 以下の資料 (PDF)を読む。 『日本心理学会 心理学ミュージアム（犯人は誰だ？：犯罪者プロファイリング、そしてテキストマイニングの応用）』 https://psychmuseum.jp/show_room/profiling/ 『財津 (2014). ポリグラフ検査に対する正しい理解の促進に向けて』 https://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/lt/rb/636/636PDF/zaitu.pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第8回	①授業テーマ 犯罪捜査に活用されている心理学② ②授業概要 裁判において証拠となり得る目撃証言に関する心理学、および取調べと供述の心理学について学ぶ。(E1、C1、G1) ③予習(120分) 以下の資料を読む。 『日本心理学会 心理学ミュージアム（取扱注意の目撃証言：目撃証言の功罪）』 https://psychmuseum.jp/show_room/testimony/ 『警察庁 (2012). 取調べ：基礎編』 https://www.npa.go.jp/sousa/kikaku/20121213/shiryou.pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第9回	①授業テーマ 犯罪被害者の心理および支援 ②授業概要 犯罪被害者等基本法や被害者心理学、司法面接といった関連領域を理解するとともに、被害者やその遺族の心理特性および支援について学ぶ。(E1、C1、G1) ③予習(120分) 以下の資料 (PDF)を読む。 『横田ほか (2023). 性犯罪被害者の被害時の心的反応に関する分析』

	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsy/94/1/94_94.20087/_pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第10回	①授業テーマ 少年非行と心理学 ②授業概要 最近までの少年法の動向を把握し、非行少年の心理特性や非行の原因に関する理論を理解する。(E1) ③予習(120分) 以下の資料 (PDF)を読む。 『犯罪白書(令和5年版) 第3編少年非行の同行と非行少年の処遇』 https://www.moj.go.jp/content/001410102.pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第11回	①授業テーマ 矯正と更生にかかる心理学 ②授業概要 矯正や更生に関するモデル、成人・少年の矯正処遇、更生保護について理解する。(E1、C1、G1) ③予習(120分) 以下の資料 (PDF)を読む。 『犯罪白書(令和5年版) 第2編犯罪者の処遇 第4章成人矯正、第5章更生保護』 https://www.moj.go.jp/content/001410101.pdf ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第12回	①授業テーマ 犯罪心理学が関わる公的機関および職種 ②授業概要 犯罪心理学が関わる各種機関(法務省関連、裁判所、警察、児童相談所)を通して、家事事件や被害者支援、犯罪捜査、児童保護などの職種を理解する。(E1、G1) ③予習(120分) 以下の各種機関を紹介しているネット資料に触れる。 「科学警察研究所 (https://www.npa.go.jp/nrips/jp/)」 「警視庁科学捜査研究所 (https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/shokai/katsudo/science.html)」 「家庭裁判所調査官 (https://www.courts.go.jp/saiban/zinbutu/tyosakan/index.html)」 「鑑別所 法務技官 (https://www.moj.go.jp/kyousei1/kyousei_kyouse15.html)」 ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第13回	①授業テーマ 裁判と心理学 ②授業概要 裁判員裁判の制度、裁判官および裁判員の心理特性を理解するとともに、事実認定と量刑判断に影響を及ぼす心理学的要因について学ぶ。(C1、G1、I3) ③予習(120分) 以下の文献を読む。 『伊東 (2019). 裁判員の判断の心理：心理学実験から迫る』 ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第14回	①授業テーマ 防犯にかかる心理学 ②授業概要 現在までの地域防犯活動の動向や警察による犯罪情勢分析、犯罪不安に関わる心理学を学ぶ。(G1) ③予習(120分) 以下の文献を読む。 『小宮 (2015). 子どもは「この場所」で襲われる』 ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
第15回	①授業テーマ 総括 (各種発達段階からみた犯罪と心理) ②授業概要 本講義を、各種発達段階 (母親の妊娠から就学前、学童期、中学・高校時代、青年期、高齢期) における犯罪という新たな視点からまとめる。(E1)

	③予習(120分) 授業で配布した資料を再読する。 ④復習(120分) 配布資料を再読するとともに、今回の講義内容に関連する報道等に触れ、犯罪事象について再考し理解を深める。
--	--

関連科目	■犯罪と捜査
------	--------

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書は使用しません。各授業回にて講義資料を配布します。				

参考書・参考URL	■越智啓太ほか (2017). テキスト司法・犯罪心理学 北大路書房 (ISDN:9784762829758) ■日本犯罪心理学会 (2016). 犯罪心理学事典 丸善出版(ISDN:9784621089552)
-----------	---

連絡先・オフィスアワー	■連絡先：zaitsu.wataru@nihon-u.ac.jp
-------------	----------------------------------

研究比率	
危機管理領域との対応	
災害マネジメント領域	10%
パブリックセキュリティ領域	60%
グローバルセキュリティ領域	20%
情報セキュリティ領域	10%
危機管理と法学とのバランス	
危機管理学	70%
法学	30%